

令和3年度認定

【計画名：備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R3			R4			R5		R6		R7	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①来館者数(人)	42,000	17,762	42%	44,000	30,612	70%	46,000		50,000		50,000	
②外国人来館者数(人)	100	4	4%	300	647	216%	1,000		2,000		2,400	
③来館者の満足度(%)	67	96.5	144%	70	96.6	138%	75		80		80以上	
④入館料以外の売り上げ(千円)	15,000	18,670	124%	18,000	30,558	170%	20,000		22,000		24,000	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による観光需要の低迷が続き、来館者数の回復が遅れている。特に団体旅行の低迷が大きく影響している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による水際対策が緩和された9月以降に外国人来館者(ツアー含む)が回復した。</li> <li>・本事業による取組や地域全体での受入整備等により来館者の満足度は高くなっている。</li> <li>・物産館のリニューアルや取扱商品の見直し、民間の商品開発が進んだこともあり、入館料以外の売り上げが確保できている。事業4-①も寄与している。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標①については、新型コロナウイルス感染症の影響により達成できていない。</li> <li>・目標②③④については、目標値を大きく超えて達成できている。</li> </ul>
---

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R3	R4	R5	R6	事業類型ごとの実績額
事業1-①	備前長船刀剣博物館所蔵品データベース化事業	— (台帳整理)	— (台帳整理)			5.3 百万円
事業1-②	地域と連携した満足度向上イベント開催事業	備前福岡イベントを実施	親子体験イベントの実施			
事業1-③	日本刀の里ガイド養成事業		日本刀ガイド養成講座の実施			
事業1-④	国立館等との連携展示開催事業					
事業1-⑤	サブカルチャーコラボ展開催事業		コラボ展を開催			
事業1-⑥	高付加価値コンテンツ開発事業	— (独自に実施)	— (コロナ未実施)			
事業1-⑦	国宝「山鳥毛」拵修復・展示事業					
事業1-⑧	刀職育成・確保推進事業	— (工房貸借・研修会支援)	— (工房貸借・研修会支援)			
事業2-①	山鳥毛・刀作業デジタルコンテンツ作成事業	— (独自に実施)	— (コンテンツ運用)			1.1 百万円
事業2-②	多言語対応専門人材の確保	採用者決定、渡日許可待ち	多言語支援員の配置(多言語化実施)			
事業3-①	シャトルバス運行事業	— (独自に実施)	— (独自に実施)			1.0 百万円
事業3-②	観光タクシー商品造成事業	観光ラッピングタクシー及び周遊プラン開発を実施	— (事業者で自走)			
事業3-③	レンタアートサイクル事業					
事業3-④	備前長船刀剣博物館駐車場整備事業案内板整備事業		指導標の設置			
事業4-①	日本刀関連商品造成事業	日本刀関連商品を開発・試験販売を実施	日本刀関連商品を開発 ECサイト開設			3.4 百万円
事業4-②	日本刀体感ツアー造成事業	滞在型刀剣文化体験ツアーを開発・試行	— (コロナ未販売)			
事業4-③	特別展連携地域消費拡大事業	— (地域団体が実施)	— (地域団体が実施)			
事業5-①	日本刀の聖地情報発信事業	シティリビングと刀剣画報を活用して情報を発信	web等用動画を制作			2.2 百万円
事業5-②	備前長船刀剣博物館ホームページ多言語化事業					
事業5-③	外国人観光客ツアー誘客促進プロモーション事業	— (コロナ未実施)	— (独自に実施)			

事業6-①	展示ケース購入事業					5.2 百万円
事業6-②	刀剣の世界改修整備事業					
事業6-③	備前長船刀剣博物館駐車場整備事業	新駐車場用地の測量と設計を実施	— (※地権者協議のみ)			
各年度ごとの実績額→		10.3百万	7.9百万円			18.2 百万円

#### ④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業協議(会合)やイベントの開催などが困難となり、事業の中止や進捗の遅れが生じている。</li> <li>来館者の受け皿整備や展示の工夫、魅力的な商品開発等により来館者の満足度向上につながっている。</li> <li>魅力的な商品開発や店舗の見直しを行ったことにより入館料以外の売り上げ向上につながっている。</li> <li>地権者協議に時間を要し、駐車場整備は遅れている。</li> </ul> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部の事業に中止や進捗の遅れが生じたが、3項目の目標値を大きく上回っており、交流人口や関係人口の維持・拡大、地域消費の拡大など地域の文化振興や活性化に寄与できている。</li> </ul>
--

#### ⑤拠点施設の要件に関する取組状況

要件	文化観光拠点施設名	備前長船刀剣博物館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		備前長船刀剣博物館の展示物解説に見どころをイラストで示すなど刀剣鑑賞初心者に分かりやすい工夫をしている。また、体験イベントを開催し、体験による刀剣への理解の深化を図った。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		常設展示していない国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」をCGやVRで常時紹介している。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		刀剣の基礎知識を有する外国人の多言語支援員が英語の解説パネルを設置した。また、外国人が来館した際にはガイドとして対応している。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		地域住民や市観光協会、市内民間事業者、刀職などが参加し、情報交換を行う連絡会を開催した。個々の事業がリンクするなどネットワークが構築されつつある。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		来館者アンケートやSNSを活用した意見聴取等により事業評価やニーズ、要望等を把握し、その結果を受け、事業の改善等に活用している。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立		計画で設定した目標の確認を行い、コーチング等により事業の改善や計画の修正等を検討している。

#### ⑥観光関係者(DMOなど)からの評価

評価者	評価内容
一般社団法人瀬戸内市観光協会	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、本計画(備前長船刀剣博物館「日本刀の聖地」拠点計画)にて、当地に受け継がれる刀剣の歴史や文化にスポットを当て様々な発信をすることで、市民の関心が高まってきている。また、日本刀による地域ブランディングが功を奏し、来館者の消費が拡大すると同時に満足度向上に繋がっている。更に、刀剣の装飾技術を用いた体験教室や備前刀の歴史・長船の歴史を学ぶ講座等の継続的なアプローチにより地域を担う人材の発掘やネットワーク構築が進んでいる。未来を担う地域の子供たちに向けた体験イベント「長船真剣勝負」は、イベントを通じて刀の魅力を感じ取り、より効果的に刀剣についての理解を深めることを目的に開催され、NHKや地域新聞で取り上げられるまでの注目を集め、令和5年度には、観光協会自主イベントとしての開催が決まった。「刀剣の里」魅力再発見講座(全4回)では、募集開始間もなくで定員30名満席となり、市民から「講座第2弾」への要望も強く令和5年度に開催が決定した。本計画の実施を通じて「日本刀の聖地 長船」に向けた期待の表れとして地域住民が深く携わる事業が確実に展開されている。

#### ⑦今後の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>観光需要が回復しつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ続くことが予想され、アフターコロナの取組をウィズコロナの観点で見直し、実施を進めるようにする。</li> <li>事業実績や取組成果をもとに計画を再点検し、計画の修正や事業の改善を行う。</li> <li>進捗が遅れている事業については、他事業との関連性を勘案した上でスケジュールを見直し、適切に実施できるように進める。</li> </ul>
--